

「日本の戯曲研修セミナー」in 東京 2020 《オンライン版》

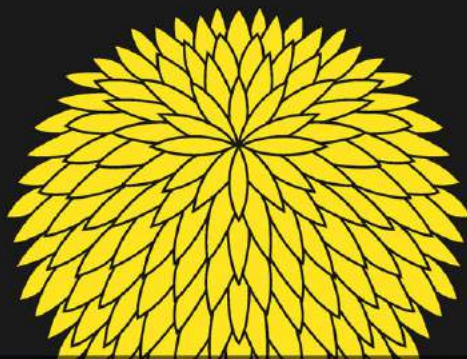
今回は新型コロナウイルスへの対応として、オンライン上で「日本の戯曲研修セミナーin東京」を開催いたします。ですから東京とついていますが、インターネットに繋がっていただければどなたでも参加可能です。三島由紀夫『鹿鳴館』を題材に、参加者それぞれが戯曲への「問い」を持ち寄り、ディスカッションを通して、より深くより面白く戯曲に迫っていきます。研修のナビゲーター（演出）は宮田慶子氏です。多くの方の応募をお待ちしております！

三島由紀夫を読む！ 『鹿鳴館』

ナビゲーター /
宮田慶子



MISHIMA Yukio



MIYATA Keiko

1925年東京生れ。本名平岡公威。1947年東大法学部を卒業後、大蔵省に勤務、9ヶ月で退職。1949年、自伝的小説『仮面の告白』を刊行。戦後文学のスターとして様々なジャンルで活躍。主な小説に『潮騒』、『金閣寺』、『豊饒の海』全4巻。戯曲の執筆は1948年『火宅』に始まり、謡曲を現代化した『近代能楽集』、西洋種の『サド侯爵夫人』『わが友ヒトラー』、歌舞伎『権説弓張月』などがある。1970年自衛隊市ヶ谷駐屯地で自決。



演出家。東京都出身。1980年、劇団青年座に入団。創作劇、翻訳劇、ミュージカル、オペラなど多方面にわたる作品を手がける一方、演劇教育や日本各地での演劇振興・交流に積極的に取り組んでいる。2010年～2018年新国立劇場演劇芸術監督。2016年～新国立劇場演劇研修所所長。日本劇団協議会常務理事。日本演出者協会副理事長。主な受賞歴に、紀伊国屋演劇賞個人賞、芸術選奨文部大臣新人賞、毎日芸術賞千田是也賞、読売演劇大賞最優秀演出家賞など。

戯曲

に関わる
すべての人に
開かれた
セミナーです

オンライン版

#三島由紀夫を読む！

【事前研修】 8/28(金)・29(土)

9/14(月) - 9/20(日)

【会場】 Zoom

一般社団法人 日本演出者協会

文化庁委託事業「令和2年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」

